

国連の生物多様性推進活動に賛同

国内外の全生産拠点が「グリーンウェイブ2010」に参加

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は、5月22日（土）の「国際生物多様性の日」に合わせて、環境省が中心となって進めている「グリーンウェイブ2010」に国内外の全生産拠点で参加する。

毎年5月22日は国際連合（国連）が定めた国際生物多様性の日であり、カナダにある生物多様性条約事務局は、同日の現地時間午前10時に世界各地で一斉に植樹などを行う「グリーンウェイブ」を推進している。日本では環境省、国土交通省および林野庁がこの活動に応じ、3月1日から5月31日までを「グリーンウェイブ2010」期間として、教育機関や青少年団体、NPO／NGOなどから民間企業、個人（グループでの参加を推奨）まで幅広く参加を呼びかけている。

横浜ゴムはこの取り組みに賛同し、イベント開催中に国内外の9生産拠点（平塚製造所、三重、三島、新城、尾道、茨城工場、ヨコハマタイヤマニュファクチャリング（タイ）、YHアメリカ、ヨコハマタイヤコーポレーション）で植樹を実施するほか、その他の拠点はすでに植樹済みの樹木の手入れなどを行う。従業員を中心に地域の方々にも協力を呼びかけていく。

横浜ゴムは2007年から地域の安全や環境、生物多様性を守るための植樹活動として「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトを実施している。宮脇昭氏（植物生態学者／横浜国立大学名誉教授）の指導の下、潜在自然植生に則った植樹活動を進め、国内外の全生産拠点到約50万本を植樹する計画を推進中。植樹のみにとどまらず、木を植えることの効果や生態系への影響を把握するため、CO₂吸収固定量のモニタリングと野鳥観察も行っている。また、上記の植樹活動に加え、従業員が育てた苗木を行政や学校、団体、他の企業などに提供することにより、広く社会に対し地球環境保全の重要性を訴えている。



横浜ゴムでは、横浜ゴムグループで取り組む多様な環境貢献活動を「ecoMOTION」と名付けています。

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株） 広報部

TEL : 03-5400-4531 FAX : 03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ

〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570